

Sen'i Gakkaishi
(Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

繊維学会誌

特集 〈公設試 (その2)〉



2017 Vol.73 3

一般社団法人 繊維学会

日本化学繊維協会 Web サイトのご案内

日本化学繊維協会では“化学繊維”に関する情報発信の一環としてWebサイトを開設しています。

日本化学繊維協会と炭素繊維協会は2014年7月1日に統合しました

ニュース | 統計資料 | よわかる化学せんい | 未来をつくる化学せんい | 日本化学繊維協会について

JCFA 日本化学繊維協会

Japan Chemical Fibers Association

化学繊維の未来を見つめて

日本化学繊維協会は、日本化学せんい工業の健全な発展をはかるためにつくられた化学せんいの製造メーカーと供給業者の団体です。日本の化学せんいの将来をみつめてその発展のためにあらゆる角度から総合的な活動をしています。

プレスリリース press release

- 2017.1.13 **世界の化学繊維生産動向(2016年)** NEW
- 2016.12.26 **化学繊維生産・在庫の概況(速報) 2016年11月度** NEW
- 2016.12.26 **化学繊維の生産在庫別データ** NEW
- 2016.12.26 **世界の化学工業の動向 2016年第3四半期** NEW
- 2016.11.28 **化学繊維生産・在庫の概況(速報) 2016年10月度**

業界ニュース Industry News

- 2017.1.20 **【中国】2016年の繊維品輸出、7.5%減** (192 KBKB) NEW
- 2017.1.10 **【米国】衣目消費支出割合、3.3%に低下ー2015年** (192 KBKB) NEW
- 2016.12.20 **【米国】Lensing, AlabamaにTencel工場を建設へ** (192 KBKB)
- 2016.12.9 **【世界】インドの消費急増、世界の繊維市場への影響は限定的** (192 KBKB)
- 2016.11.30 **【世界】中国の過剰在庫が削減へ** (192 KBKB)

インフォメーション Information

- 2016.11.1 **【日本化学繊維協会におけるPPE強化取組】への対応を更新しました。**
- 2016.7.29 **KASEN TOPICS Vol.29「スマートテキスタイル」を更新しました。**
- 2016.5.27 **KASEN TOPICS Vol.28「リサイクル素材」を更新しました。**
- 2016.4.11 **KASEN TOPICS Vol.27「製薬素材」を更新しました。**
- 2016.2.29 **KASEN TOPICS Vol.26「不織布」を更新しました。**

会長挨拶 | 会員企業 | 化学繊維の用語集 | 2017年版 繊維ハンドブック | 先端繊維素材サイエンスシアター | 化学せんいのちから | KASEN TOPICS | 機能性試験解説の決定版! | 化学繊維情報提供支援データベース | 化学繊維技術改善研究会

お問い合わせ・ご意見

ニュース | 統計資料 | よわかる化学せんい | 未来をつくる化学せんい | 日本化学繊維協会について

お問い合わせ | サイトマップ | ご利用条件・プライバシーポリシー | Copyright (c) Japan Chemical Fibers Association

この1冊があなたの仕事を助けます。
業界人必携の最新繊維データベース

- 日本と世界の繊維原料からテキスタイル、アパレル、消費まで、特に発展する東アジアのデータを充実
- 全繊維、全加工段階を網羅・収録

2017年版

繊維ハンドブック

<http://www.jcfa.gr.jp/>

「繊維ハンドブック」(統計資料集)もWebからご注文いただけます。



卒業制作データベースは
こちらから ●●●▶



ファッション業界での活躍をめざすなら、 服飾造形学類

和洋女子大学

- 人文学群
 - 国際学類 英語文化コミュニケーション専修 / 国際社会専修
 - 日本文学文化学類 日本文学専修 / 日本語表現専修 / 書道専修 / 文化芸術専修
 - 心理学類 心理学専修
 - こども発達学類 こども発達学専修

- 家政学群
 - 服飾造形学類 服飾造形学専修
 - 健康栄養学類 健康栄養学専修
 - 家政福祉学類 家政福祉学専修

和洋女子大学大学院 (男女共修)

- 人文科学研究科
 - 英語文学専攻
 - 日本文学専攻
- 総合生活研究科
 - 総合生活専攻 (博士前期・後期課程)

【お問い合わせ先】 TEL: 047-371-1127
 広報・入試センター FAX: 047-371-1185



和洋女子大学
和洋女子大学大学院

〒272-8533 千葉県市川市国府台 2-3-1
 <交通アクセス> 京成線 国府台駅より徒歩9分 / 北総線 矢切駅よりバス7分 / JR線 市川駅よりバス8分 / JR線 松戸駅よりバス20分

2016年3月、和洋女子大学はパリ(フランス)のオートクチュール協会の服飾専門学校 Ecole de la Chambre Syndicale de la Couture Parisienne と学校間協定を締結しました。

www.wayo.ac.jp

A photograph of two dogs, a white one on the left and a golden retriever on the right, both dressed in formal business suits with ties and lanyards. They are sitting in a dark space filled with colorful, shiny streamers that hang down from the top. The white dog is looking towards the camera, while the golden retriever is looking to the right. Both dogs have their hands clasped in front of them. A speech bubble is positioned above the white dog.

クリーン
エネルギー社会を
現実に

いま、必要な会社。

NISSHINBO

www.dog-theater.jp

Edited by
The Society of Fiber Science
and Technology, Japan

The Society of Fiber Science and
Technology, Japan *Editor*

High-Performance and Specialty Fibers

Concepts, Technology and Modern
Applications of Man-Made Fibers for
the Future

 Springer

繊維学会会員は、先着500冊（冊子版・電子版）まで
2割引で購入出来ます（平成31年9月末日締切り）。
<http://www.springer.com/jp/book/9784431552024>
へアクセス後、「SocFiberJapan」のクーポン入力
コードを入力してご購入下さい。

High-Performance and Specialty Fibers

Concepts, Technology and Modern Applications of Man-Made Fibers for the Future

- Covers from high-performance super fibers to highly functionalized fibers so-called 'Shin-gosen', which are manufactured in Japan
- Is the first English book for modern fiber science and technology authorized by the Society of Fiber Science and Technology, Japan
- Is written by fiber specialists in industry and academe
- Introduces both recent and historically important man-made fibers

Read
Today

This book reviews the key technologies and characteristics of the modern man-made specialty fibers mainly developed in Japan. Since the production of many low-cost man-made fibers shifted to China and other Asian countries, Japanese companies have focused on production of high-quality, high-performance super fibers as well as highly functionalized fibers so-called 'Shin-gosen'. Zylon™ and Dyneema™ manufactured by Toyobo, Technora™ produced by Teijin, and Vectran™ developed by Kuraray are those examples of super fibers. Carbon fibers Torayca™ from Toray have occupied the most advanced high-performance application area. Various types of polyester fibers having design-shaped cross-sections and special fiber morphologies and those showing specific physico-chemical properties have also been developed to acquire a high-value textile market of the world.

This book describes how these high-tech fibers have been developed and what aspects are the most important in each fiber based on its structure-property relationship. Famous specialists both in industry and academia are responsible for the contents, explaining the design concepts and the special technologies for the production of these special fibers. For university teachers and students, this volume is an excellent textbook that elucidates the basic concepts of modern fibers. At the same time, researchers, both in academia and industry, will find a comprehensive overview of recent man-made fibers.

This publication, presenting the most easily understandable general survey of specialty man-made fibers to date, is dedicated to the 70th-anniversary of the Society of Fiber Science and Technology, Japan.



業界待望の入門書!!

繊維産業の全工程
川上—川中—川下を網羅

JTCCの繊維技術士陣15名による「せんい」の必携書

業界マイスターに学ぶ

2016年
10月21日発行!!

せんいの基礎講座

繊維学会誌連載講座を書籍化

大学・専門学校の教育用に —
繊維技術のスキルアップに —
座右の名著をご活用下さい!!

- 監修：一般社団法人 繊維学会
- 編集：一般社団法人 日本繊維技術士センター (JTCC)
- 発行：株式会社 繊維社 企画出版
<https://www.sen-i.co.jp>
- 体裁：A5判 428ページ カバー巻き
- 定価：本体 3,000円 + 税 ※発行記念 特別価格 2,700円で販売中! (2017年3月末まで。詳細はHPに)

「発刊に寄せて」より (抜粋)

本書はタイトルを「せんい」とひらがなで表現し、「基礎講座」と銘打っていることからわかるとおり、「せんい」を初めて学ぶ方々を意識して執筆されている。一方、「せんい」の分野は川上から川下まで幅広く、自分の専門領域に関する知識はあっても、少し離れた領域について十分な基礎知識をもつことは、実は容易ではない。このような苦勞を感じている中堅、あるいはベテランの方々にも、本書は本当に役に立つと自信をもって推薦することができる。端から端まで読み通しても、索引を活用して辞書的に使っても、とにかくポイントを外さずに本当に必要な知識を得ることのできる良書ということができるだろう。

一般社団法人 繊維学会
会長 鞠谷 雄士

「発刊にあたって」より (抜粋)

繊維産業に従事している方々や繊維について学ぶ学生の皆様が、本書を通じて、繊維および繊維製品について系統的に広く学んでいただき、繊維技術を継承いただくことはもちろん、繊維産業のグローバルな成長の担い手として活躍いただくことを期待します。また、先端産業分野における新しい革新のヒントにつなげていただければ、この上ない喜びです。

一般社団法人 日本繊維技術士センター (JTCC)
理事長 井塚 淑夫

本書の内容

<p>● 発刊に寄せて 一般社団法人 繊維学会 会長 鞠谷 雄士</p> <p>● 発刊にあたって 一般社団法人 日本繊維技術士センター 理事長 井塚 淑夫</p> <p>第1編 繊維の基礎知識</p> <p>第1章 序論 1.1 繊維の分類 1.2 繊維を形成する分子の特徴 1.3 繊維の太さ(線度)の表示</p> <p>第2章 天然繊維 2.1 綿 2.2 麻 2.3 羊毛 2.4 絹</p> <p>第3章 化学繊維の製法 3.1 紡糸の基礎プロセス 3.2 紡糸方式各論</p> <p>第4章 化学繊維 4.1 再生繊維 4.2 合成繊維 4.3 汎用合成繊維</p> <p>第5章 高性能・高感性繊維 5.1 異形断面繊維 5.2 異収縮繊維 5.3 サイドバイサイド型 コンジュゲート繊維 5.4 超極細繊維 5.5 ポリエステル繊維の高発色化 5.6 軽量・保温性繊維 5.7 吸放湿繊維 5.8 吸水性繊維 5.9 吸湿発熱性繊維 5.10 制電性繊維、導電性繊維 5.11 抗菌防臭繊維、制菌繊維 5.12 消臭繊維 5.13 紫外線遮蔽繊維 5.14 最近話題のその他の繊維</p> <p>第6章 高性能繊維 6.1 超高強度・高弾性率繊維 6.2 難燃繊維 6.3 無機繊維</p> <p>第2編 糸の基礎知識</p> <p>第1章 糸 1.1 糸の分類 1.2 糸の太さの表示法 1.3 芯の断面</p> <p>第2章 紡績 2.1 紡績糸の製造方法 2.2 混紡 2.3 半紡績 2.4 新技術 2.5 紡績の知恵(糸つなぎ)</p> <p>第3章 加工糸 3.1 加工糸特性による各種加工法の分類 3.2 各種加工法の概要 3.3 加工糸の製造および取り扱い</p>	<p>第3編 織物の基礎知識</p> <p>第1章 織物の定義 1.1 織物とは何か 1.2 織物・編物・不織布・皮革の比較</p> <p>第2章 織物の種類と特徴 2.1 素材で区分 2.2 糸で区分 2.3 形態で区分 2.4 工程で区分 2.5 用途で区分 2.6 織機で区分 2.7 組織で区分</p> <p>第3章 織物の製造 3.1 織物の製造工程概要 3.2 主な工程</p> <p>第4章 織物の規格 4.1 幅 4.2 長さ 4.3 織縮み 4.4 密度 4.5 目付 4.6 厚さ 4.7 カバーファクタ</p> <p>第5章 織物の欠点 5.1 欠点名と内容</p> <p>第4編 編物の基礎知識</p> <p>はじめに</p> <p>第1章 編物の基礎知識 1.1 編み方による分類 1.2 編みの種類</p> <p>第2章 よこ編(緯)編とたて編(経)編 2.1 よこ編 2.2 たて編 2.3 編み方による大分類</p> <p>第3章 よこ編の基本組織 3.1 よこ編の基本ループと編成記号 3.2 よこ編の三原組織 3.3 よこ編の変化組織</p> <p>第4章 たて編の基本組織 4.1 たて編の三原組織 4.2 ゴム編の変化組織 4.3 ハール編の変化組織</p> <p>第5章 たて編の基本組織 5.1 たて編の基本ループと編成記号 5.2 たて編の三原組織 5.3 たて編の変化組織</p> <p>第6章 たて編の編成記号 6.1 編成記号の構成要素 6.2 針床(ニードルベッド) 6.3 編機のゲージ 6.4 基本工程</p> <p>第7章 編物の種類 7.1 よこ編(緯)編 7.2 たて編(経)編 7.3 編物の種類と用途概略</p> <p>第8章 技術動向</p>	<p>第5編 織物の基礎知識</p> <p>はじめに</p> <p>第1章 機械的特性 1.1 引張強さ 1.2 引裂強さ 1.3 疲労強さ 1.4 摩耗強さ</p> <p>第2章 外観特性 2.1 防シワ性 2.2 ウォッシュ・アンド・ウェア性(W&W性) 2.3 フリーニング性 2.4 ヒリシヤ性 2.5 スナック性</p> <p>第3章 寸法安定性 3.1 洗濯収縮 3.2 アイロンプレス収縮</p> <p>第4章 衛生機能的特性 4.1 水分に関する性質 4.2 熱に関する性質 4.3 空気に関する性質 4.4 静電気に関する性質 4.5 微生物(細菌)に関する性質</p> <p>第5章 屋合特性 第6章 織物と編物の比較</p> <p>第6編 染色加工</p> <p>第1章 染色加工の目的 1.1 色・柄の付与 1.2 必要な特性の付与</p> <p>第2章 染色 2.1 繊維と染料 2.2 染色の最適化</p> <p>第3章 染色の工程 3.1 デザイン表現と染色方法 3.2 染色の基本工程 3.3 準備工程 3.4 先染め 3.5 後染め 3.6 検査</p> <p>第4章 加工 4.1 仕上げ加工 4.2 特殊加工</p> <p>第5章 検査 5.1 外観品位 5.2 色判定 5.3 物性 5.4 染色堅牢度</p> <p>第7編 アパレル製品の基礎知識</p> <p>第1章 アパレルの製造 1.1 アパレルとは 1.2 アパレル生産工程の概要 1.3 アパレルの企画・設計 1.4 アパレル縫製工程の工程概要と生産設備</p> <p>第2章 アパレルの品質 2.1 衣料品に対する消費者苦情 2.2 衣服の使用と性能変化 2.3 苦情事故を発生させないために</p> <p>● 索引</p>
--	--	---

● お申し込みは — 電話 / HP / E-mail で



株式会社 繊維社 企画出版

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町1-9-29 (東本町ビル5F)
Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899
E-mail: info@sen-i.co.jp <https://www.sen-i.co.jp>



ホームページリニューアル

繊維技術データベース開始しました!!

入門・教育用に、新商品・新技術開発にご活用ください。



織 維 学 会 誌

平成 29 年 3 月 第 73 卷 第 3 号 通巻 第 852 号

目 次

時 評 染色産業の飛躍にむけ 池田 哲夫 P-105

特 集 〈公設試(その2)〉

あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター P-106

あいち産業科学技術総合センター 三河繊維技術センター P-109

名古屋市工業研究所 P-112

岐阜県産業技術センター P-115

富山県工業技術センター 生活工学研究所 P-117

石川県工業試験場 P-120

福井県工業技術センター P-122

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所 P-125

地方独立行政法人大阪市立工業研究所 P-128

繊維学会創立70周年記念連載 〈技術が支えた日本の繊維産業—生産・販売・商品開発の歩み—42〉

繊維産地の盛衰(12) 綿紡績の綿織物業(戦前編)下 松下 義弘 P-131

海外ニュースレター P-140



Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 73, No. 3 (March 2017)

Contents

Foreword

Progress of the Textile Dyeing Industry for the Future Tetsuo IKEDA P-105

Special Issue on Public Research Organizations for Fibers (Part 2)

Owari Textile Research Center,
Aichi Center for Industry and Science Technology P-106
Mikawa Textile Research Center,
Aichi Center for Industry and Science Technology P-109
Nagoya Municipal Industrial Research Institute P-112
Industrial Technology Center, Gifu Prefectural Government P-115
Human Life Technology Research Institute
— TOYAMA Industrial Technology Center P-117
Industrial Research Institute of Ishikawa P-120
Industrial Technology Center of Fukui Prefecture P-122
Technology Research Institute of Osaka Prefecture P-125
Osaka Municipal Technical Research Institute P-128

Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

—History of the Production, Sales, and Product Development—42

Rise and Fall of Textile-Producing Regions (12) Yoshihiro MATSUSHITA P-131

Foreign News Letter

P-140



Journal of Fiber Science and Technology (JFST)

Vol. 73, No. 3 (March 2017)

Transactions / 一般論文

- ❖ 耐熱性 CFRTP 母材としての非晶性芳香族系熱可塑高分子の適合性調査
入澤 寿平・橋本 玲央・荒井 政大・田邊 靖博 61
The Suitability Evaluation of Aromatic Amorphous Thermoplastics as
Matrix Resin for CFRTP Having High Thermal Stability
Toshihira Irisawa, Ryo Hashimoto, Masahiro Arai, and Yasuhiro Tanabe
- ❖ 天然繊維の高機能化への大気圧プラズマジェットの利用
後藤 景子・大井 智子・安川 涼子 67
Application of Atmospheric Pressure Plasma Jet to Surface Functionalization of
Natural Fiber
Keiko Gotoh, Tomoko Ohi, and Ryoko Yasukawa
- ❖ ポリプロピレンと綿を用いた混紡糸による編布の物性に与える混用率の影響
水橋 秀章・上條 正義・吉田 宏昭・久保 昌彦 75
The Effect of Mixing Ratio against Material Properties of Knitted Fabric
Made by Blended Yarn with Polypropylene and Cotton
Hideaki Mizuhashi, Masayoshi Kamijo, Hiroaki Yoshida, and Masahiko Kubo

繊維学会論文誌“Journal of Fiber Science and Technology (JFST)”

毎月の目次と抄録を繊維学会誌に掲載して参ります。本文はJ-Stageでご覧になれます。繊維学会のホームページ「学会誌・出版」から、また直接下記のアドレスにアクセスしてください。

英語：<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst>

日本語：<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst/-char/ja/>

JFST はどなたでも閲覧は自由で認証の必要はありません。但し、著作権は繊維学会に帰属されます。

Journal of Fiber Science and Technology 編集委員 Journal of Fiber Science and Technology, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	鬘 谷 要 (和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊 (東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	金 井 博 幸 (信州大学) Hiroyuki Kanai	上高原 浩 (京都大学大学院) Hiroshi Kamitakahara	河 原 豊 (群馬大学大学院) Yutaka Kawahara
	木 村 邦 生 (岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦 史 (静岡大学) Atsushi Kubono	澤 渡 千 枝 (静岡大学) Chie Sawatari
	武 野 明 義 (岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯 或 (釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡 (京都大学) Masatoshi Tosaka
	花 田 美 和 子 (神戸松蔭女子学院大学) Miwako Hanada	久 田 研 次 (福井大学大学院) Kenji Hisada	堀 場 洋 輔 (信州大学) Yohsuke Horiba
	山 根 秀 樹 (京都工業繊維大学大学院) Hideki Yamane	吉 水 広 明 (名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	

The Suitability Evaluation of Aromatic Amorphous Thermoplastics as Matrix Resin for CFRTP Having High Thermal Stability

Toshihira Irisawa, Ryo Hashimoto, Masahiro Arai, and Yasuhiro Tanabe

Graduate School of Engineering, Nagoya University, Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8603, Japan

The mechanical properties of CFRTPs made with polyetherimide (CFRTP-PEI) and polyethersulfone (CFRTP-PES) and the interfacial shear strength between CF and each polymer (CF/PES and CF/PEI) have been investigated. The relationships between measured parameters have been also discussed. The modulus and strength of both CFRTP achieved over 85% and 80% of theoretical values calculated from the rule of mixtures, respectively. For this reason, it is thought that the interfacial adhesion of CF/PES and CF/PEI effectively works for mechanical properties. The modulus of both CFRTPs and the strength of CFRTP-PEI showed almost constant below 150 °C. On the other hand, the modulus of both CFRTP markedly decreased above 150 °C and the strength of CFRTP-PEI began to decrease above 100 °C. The modulus of CFRTP-PES at 100 °C became 70 % of that at 25 °C. The interfacial shear strength of CF/PES and CF/PEI didn't decrease but the mechanical properties of each polymer obviously decreased below 100 °C. These results suggest that the thermal stability of CFRTPs is influenced not by interfacial adhesion but by the mechanical properties of matrix resins. **J. Fiber Sci. Technol.**, **73(3)**, 61-66 (2017) doi 10.2115/fiberst.2017-0008 © 2017 The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Application of Atmospheric Pressure Plasma Jet to Surface Functionalization of Natural Fiber

Keiko Gotoh, Tomoko Ohi, and Ryoko Yasukawa
Faculty of Human Life and Environment, Nara Women's University, Kita-uoya-nishi-machi, Nara 630-8506, Japan

The atmospheric pressure plasma (APP) jet was applied to

the surface treatment of natural fibers, cotton, wool and silk. From the SEM observation, the wool and silk fibers were found to be slightly damaged after the APP treatment. X-ray photoelectron spectroscopic results showed that the oxygen concentration on the fiber surfaces increased by the APP treatment, especially for wool. Little change in mechanical properties of the fabrics was found, whereas the water wicking into the fabric enhanced after the APP treatment. In the case of the wool fabric, the water wicking remarkably increased and the quick drying did not significantly decrease due to the APP treatment. In the inkjet dyeing of wool fabric with acid dye, the color deepening at the initial stage of dyeing process considerably increased by the APP pre-treatment. **J. Fiber Sci. Technol.**, **73(3)**, 67-74 (2017) doi 10.2115/fiberst.2017-0009 © 2017 The Society of Fiber Science and Technology, Japan

The Effect of Mixing Ratio against Material Properties of Knitted Fabric Made by Blended Yarn with Polypropylene and Cotton

*Hideaki Mizuhashi^{*1}, Masayoshi Kamijo^{*1}, Hiroaki Yoshida^{*1}, and Masahiko Kubo^{*2}*

^{*1} *Faculty of Textile Science and Technology, Shinshu University, 3-15-1 Tokida, Ueda-shi, Nagano 386-8567, Japan*

^{*2} *Daiwabo Neu Co., Ltd., 3-6-8 Kyutaromachi, Chuo-ku, Osaka 541-0056, Japan*

The purpose of this study is to investigate relationship between material property and mixing ratio about blended yarn made from polypropylene(PP) and cotton. Material properties were measured by Kawabata Evaluation System(KES), Japan industrial Standards(JIS) and BOKEN standards. Hardness of fabric was increased by blending of cotton to PP. Resilience of fabric against mechanical deformation was decreased by blending of cotton to PP. Friction of surface was increased by blending PP to cotton because of cross-section of shape of fiber. Water transport ability and thermal insulation performance of fabric were encouraged by blending PP to cotton. The presence of optimal blending ratio for human has been suggested about fabric made by PP and cotton. **J. Fiber Sci. Technol.**, **73(3)**, 75-81 (2017) doi 10.2115/fiberst.2017-0010 © 2017 The Society of Fiber Science and Technology, Japan

会告 2017

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 73, No. 3 (March 2017)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
29. 3. 18(土) ~4. 15(土) (土曜日3回)	平成29年度技術士「第二次試験受験講習会」名古屋会場(ただし選択科目のみ)(名古屋市・JTCC 東海支部榑木町事務所) 模擬試験:5月13日(土) フォローアップスクーリング:5月27日(土)	A3
3. 24(金)	談話会「日本のアパレルファッション産業の現況と今後に向けて」(東京都・昭和女子大学)	A4
3. 25(土) ~6. 10(土) (土曜日4回)	平成29年度技術士「第二次試験受験講習会」大阪会場(大阪市・中央会館) 模擬試験:5月13日(土)	A4
4. 15(土) ~6. 10(土) (土曜日4回)	平成29年度技術士「第二次試験受験講習会」東京会場(東京都・JTCC 関東支部事務所)予備日6月24日 模擬試験:5月27日(土)	A3
4. 19(水)	第71回WIN定例講演会・第26回人間情報学会講演会 WIN・中野ICTCO連携講演会「地球の安心安全、地域経済活性化」(東京都・中野サンプラザ)	A4
4. 25(火)	第158回講演会「ポリマーブレンド・コンポジットの分析におけるポイントと事例」(東京都・東工大蔵前会館)	A4
5. 18(木) 19(金)	第22回製紙技術セミナー「-最新塗工技術-」(東京都・タワーホール船堀)	A4
5. 20(土) ~7. 1(土) (土曜日7回)	平成29年度技術士「第一次試験受験講習会」大阪会場(大阪市・JTCC 本部事務所内) 模擬試験:8月26日(土)	A3
5. 20(土) ~6. 24(土) (土曜日4回)	平成29年度技術士「第一次試験受験講習会」名古屋会場(名古屋市・JTCC 東海支部榑木町事務所) 模擬試験:8月26日(土) フォローアップスクーリング:9月9日(土)	A3
6. 3(土) ~7. 29(土) (土曜日5回)	平成29年度技術士「第一次試験受験講習会」東京会場(東京都・JTCC 関東支部事務所) 模擬試験:8月26日(土) 模擬試験フォローアップ:9月2日(土)	A3
6. 14(水) 15(木)	プラスチック成形加工学会 第28回年次大会「先進成形加工 素材と技術のマリアージュ」(東京都・タワーホール船堀)	A4
6. 15(木) 16(金)	日本接着学会 第55回年次大会(吹田市・関西大学100周年記念会館)	A4
6. 24(土) ~7. 8(土) (土曜日3回)	平成29年度技術士「第一次試験受験講習会」福井会場(ただし専門科目のみ)(福井市・福井県中小企業産業大学校) 模擬試験:8月26日(土)	A3
7. 19(水) ~21(金)	日本糖質学会 第36回年次大会「糖質、複合糖質に関する基礎研究や応用研究」(旭川市・旭川市文化会館)	A4
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年6月号
	繊維学会定款(平成24年4月1日改訂)	平成24年3月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年1月1日改訂)	平成26年1月号
	訂正・変更届用紙	平成26年3月号

「繊維学会誌」編集委員

編集委員長	土田 亮(岐阜大学)						
編集副委員長	鬘谷 要(和洋女子大院)	出口 潤子(旭化成株)					
編集委員	植野 彰文(KBセーレン株)	大江 猛(大阪市立工業研究所)	大島 直久(東海染工株)	金 翼水(信州大学)			
	小寺 芳伸(三菱レイヨン株)	澤田 和也(大阪成蹊短期大学)	杉浦 和明(京都市産業技術研究所)	高崎 緑(京都工芸繊維大院)			
	田村 篤男(帝人株)	寺本 喜彦(東洋紡株)	西田 幸次(京大化学研究所)	西村 高明(王子ホールディングス株)			
	増田 正人(東レ株)	村上 泰(信州大学)	吉田 耕二(ユニチカトレーディング株)				
顧問	浦川 宏(京都工芸繊維大院)	松下 義弘(京都工芸繊維大院)					

平成29年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
総会・年次大会	平成29年6月7日(水)～9日(金)	タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀)
繊維の基礎講座	平成29年7月13日(木)、14日(金)	キャンパス・イノベーション センター(東京)
第47回夏季セミナー	平成29年8月8日(火)～10日(木)	みんなの森 ぎふメディアコ スモス(岐阜市)
秋季研究発表会	平成29年11月1日(水)、2日(木)	フェニックス・シーガイアリ ゾート(宮崎県)

Journal of Fiber Science & Technology (JFST) 「平成29年度年次大会発表論文特集号」

平成29年6月7日(水)～9日(金)に平成29年度年次大会を東京都江戸川区のタワーホール船堀で開催いたします。

今年度は初めての試みとして、繊維学会論文誌 Journal of Fiber Science & Technology (JFST) に、年次大会特集号を以下の2つの分野を中心に企画いたしました。

1. セルロースナノファイバー(特別セッション1)
2. 繊維・高分子材料と放射光(特別セッション2)

上記の2セッションで発表をされた発表はもとより、一般発表分野に関連する発表をされた場合も投稿を歓迎致します。具体的には、「3. 繊維・高分子材料と物理」で放射光を用いた構造解析について発表した場合、「7. 天然繊維・生体高分子」でセルロースナノファイバーに関する発表した場合、など広くとらえていただければ幸いです。皆様の積極的なご投稿をお待ち申し上げます。

投稿に関してご不明な点は、遠慮なく、下記担当者までメールにてお問い合わせください。

本特集号への論文投稿に関する特典とスケジュールは下記のとおりです。

特典：投稿料の半額を、年次大会実行委員会よりサポートします。

投稿・査読・掲載スケジュール：

予備登録締切：平成29年3月31日(仮タイトル、仮著者、連絡先の登録)

論文投稿締切：平成29年6月30日

採択論文掲載：平成29年12月号

投稿を希望される方は、平成29年3月31日までに、仮タイトル、仮著者、責任著者の情報(氏名、所属、役職、住所、電話番号、メールアドレス)をご連絡ください。

担当者：齊藤継之(年次大会副実行委員長)

東京大学 大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻

E-mail : asaitot@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp TEL : 03-5841-8199

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、公益法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

(一社)学術著作権協会

TEL : 03-3475-5618 FAX : 03-3475-5619

E-mail : info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone : 1-978-750-8400 FAX : 1-978-646-8600

平成 29 年度技術士「第一次試験受験講習会」

主催：(一社)日本繊維技術士センター(JTCC)

講習科目：

- (1) 基礎科目：設計・計画・品質管理、情報・論理、解析、材料・化学・バイオテクノロジー、環境・エネルギー・技術(技術史など)
- (2) 適性科目：技術士の倫理
- (3) 専門科目(繊維部門)：紡糸、加工糸、紡績、織布、ニット、不織布、浸染・捺染、繊維加工、縫製、繊維製品試験法・表示法、など

注：技術士第一次試験の共通科目は 25 年度から廃止されています。

講習会開催日時および会場：

- (1) 大阪会場：講義 5月20、27日、6月3、10、17、24日、7月1日(土) 計7日間 時間：9:30～17:00
模擬試験：8月26日(土) 9:30～15:00
会場：JTCC 本部事務所内(大阪市中央区備後町3-4-9 輸出繊維会館6階)
- (2) 名古屋会場：講義 5月20日、6月10、17日、24日(土) 計4日間 時間：9:30～17:00
模擬試験：8月26日(土) 9:30～15:00
フォローアップスクーリング：9月9日(土) 9:30～12:40
会場：JTCC 東海支部榑木町事務所(名古屋市東区榑木町1-1)
- (3) 東京会場：講義 6月3日、17日、7月1日、15日、29日(土) 計5日間 時間：9:30～17:30
模擬試験：8月26日(土) 9:30～15:00
模擬試験フォローアップ：9月2日(土) 9:30～16:50
会場：JTCC 関東支部事務所(東京都日本橋小伝馬町滋賀ビル506号)
- (4) 福井会場：講義 6月24日、7月1日、8日(土) 計3日間(ただし専門科目のみ) 時間：9:00～17:00
模擬試験：8月26日(土) 9:30～15:00(全科目を実施)
会場：福井県中小企業産業大学校(福井市六条町16-15)

平成 29 年度技術士「第二次試験受験講習会」

主催：(一社)日本繊維技術士センター(JTCC)

講習科目：

- (1) 必須科目：講義：繊維部門の択一式問題への対応(6-1、6-2、6-3、6-4の各専門分野と業界動向)
- (2) 選択科目：講義：分野別論文(筆記式)試験への対応(過去問題とその解答例・解説等)
演習問題：各専門分野毎に演習問題を提示し、その解答に対する添削指導実施
模擬試験：本試験と同形式で模擬試験を実施し、その解答に対する添削指導実施

講習会開催日時および会場：

- (1) 大阪会場：講義 3月25、4月1、22日、6月10日(土) 計4日間
時間：9:30～17:00(演習問題の添削個別指導含む)
模擬試験：5月13日(土) 9:45～16:45
会場：中央会館(〒542-0082 大阪市中央区島之内2丁目12番31号)
- (2) 名古屋会場：講義：3月18日、25日、4月15日(土) 計3日間(ただし選択科目のみ)
(上記外に、通信式で演習問題の添削個別指導実施) 時間：9:30～17:00
模擬試験：5月13日(土) 9:30～16:45(全科目実施)
フォローアップスクーリング 5月27日(土) 9:30～12:40
会場：JTCC 東海支部榑木町事務所(名古屋市東区榑木町1-1)
- (3) 東京会場：講義 4月15日、22日、5月20日、6月10日(土) の計4日間
時間：9:30～16:30頃まで(日により異なる) 予備日：6月24日
模擬試験：5月27日(土) 9:20～16:50
会場：JTCC 関東支部事務所(東京都日本橋小伝馬町12-9 滋賀ビル506号)

第一次、第二次講習会の講師：JTCC 会員を中心に、各分野の経験豊富な専門技術者が担当します。

その他：遠隔地ないし勤務などの都合で、講義に参加できない方については、通信教育でのご指導も可能です。ご希望の内容により、詳細を相談させていただきます。

詳細(費用など)については JTCC ホームページを参照ください。

または、JTCC 本部、および各支部にお問い合わせください。

JTCC 本部 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

大阪会場 TEL:06-6484-6506 FAX:06-6484-6575

JTCC 東海支部 〒460-0008 名古屋市中区大須1丁目35番18号 一光大須ビル7階

(財)中部科学技術センター内 TEL:052-231-3043 FAX:052-204-1469

JTCC 関東支部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9 滋賀ビル5階

TEL:03-5643-5112 FAX:03-5614-0103 E-mail:jtcc-kt@nifty.com

(関東支部長溝口：携帯 090-4960-4765 E-mail:tymizoid@yahoo.co.jp)

談話会「日本のアパレルファッション 産業の現況と今後に向けて」

主催：繊維学会 繊維加工研究委員会
共催：日本家政学会関東支部(予定)、日本繊維消費
科学会(予定)
日時：平成29年3月24日(金) 14:00～15:30
場所：昭和女子大学 大学1号館7階
(世田谷区太子堂1-7)
講演：「日本のアパレルファッション産業の現況と
今後に向けて」
日本アパレル・ファッション産業協会
専務理事 戸張隆夫
参加費：繊維加工研究委員会委員(無料)、繊維学会会
員及び共催学会員(500円)
一般(1,000円)、学生(無料)
申込&問合せ先：日本女子大学家政学部被服学科
増子富美
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
FAX:03-5981-3481
E-mail:fumimasuko.fc.jwu.ac.jp

第71回WIN定例講演会・ 第26回人間情報学会講演会 WIN・中野ICTCO連携講演会 「地球の安心安全、地域経済活性化」

主催：特定非営利活動法人ウエアラブル環境情報
ネット推進機構(WIN)
(一社)中野区産業振興推進機構(ICTCO)
日時：平成29年4月19日(水) 15:00～16:50
場所：中野サンプラザ 13F スカイルーム
(中野区中野4-1-1)
プログラム：講演5件と懇親会
詳細はURL：<http://www.npowin.org/j/>(NPO法
人WIN)<http://www.ahi-soc.info/>(人間情報学
会)を参照ください。
問合せ先：NPO法人WIN事務局/人間情報学会事務局
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-12-1
新有楽町ビル247
TEL:03-5252-7382 FAX:03-5252-7386
E-mail:admin@npowin.org

第158回講演会 「ポリマーブレンド・コンポジットの 分析におけるポイントと事例」

主催：プラスチック成形加工学会
日時：平成29年4月25日(火)
場所：東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール
プログラム：講演5件
詳細はプラスチック成形加工学会のホームページ
を参照ください。
申込&問合せ先：
ホームページの本講演会会告の申込フォームから
申し込みください。
(一社)プラスチック成形加工学会 事務局
〒141-0032 東京都品川区大崎5-8-5
グリーンプラザ五反田第2 205
TEL:03-5436-3822 FAX:03-3779-9698

第22回製紙技術セミナー 「最新塗工技術」

主催：紙パルプ技術協会(JAPAN TAPPI)
日時：平成29年5月18日(木)、19日(金)

場所：タワーホール船堀 小ホール
(東京都江戸川区船堀4-1-1)

プログラム：

特別講演
製紙技術の基礎としての紙物性とその考え方
京都大学 山内龍男
デジタル教科書の現状と展望
東京書籍 川瀬 徹
サプライヤー講演10件
製紙会社事例発表4件
詳細はホームページ <http://www.japantappi.org> を参照ください。

申込&問合せ先：

〒104-8139 東京都中央区銀座3-9-11
紙パルプ会館11階
紙パルプ技術協会
TEL:03-3248-4841 FAX:03-3248-4843

プラスチック成形加工学会 第28回年次大会 「先進成形加工 素材と技術のマリアージュ」

主催：(一社)プラスチック成形加工学会
日時：平成29年6月14日(水)、15日(木)
場所：タワーホール船堀(江戸川区船堀4-1-1)
プログラム：特別講演1件、6セッション、
学生&一般ポスターセッション、成形加工「特別
授業」
ダイバーシティ交流会、企画展示、機器展示会
詳細はURL <http://www.jspp.or.jp> を参照ください。

日本接着学会 第55回年次大会

主催：(一社)日本接着学会
日時：平成29年6月15日(木)、16日(金)
場所：関西大学100周年記念会館
(大阪府吹田市山手町3-3-35)
プログラム：特別講演、各受賞講演、ポスター発表、
口頭発表
詳細は学会HP <http://www.adhesion.or.jp/nenkai>
2017/を参照ください。
問合せ先：(一社)日本接着学会事務局
〒556-0011 大阪市浪速区難波中3-9-1
難波ビルディング407号
TEL:06-6634-8866
E-mail:info-hnb@adhesion.or.jp

日本糖質学会 第36回年次大会 「糖質、複合糖質に関する 基礎研究や応用研究」

主催：日本糖質学会
日時：平成29年7月19日(水)～21日(金)
場所：旭川市文化会館(北海道旭川市7条通り9-50)
プログラム：特別講演、レジェンドレクチャー、男女
共同企画、奨励賞受賞講演
一般講演、ポスター発表
詳細は学会HP <http://www.jscr.gr.jp> を参照くだ
さい。
問合せ先：〒078-8510 北海道旭川市緑ヶ丘東2条
1-1-1
旭川医科大学医学部微生物学講座
若宮・大谷
TEL:0166-68-2393
E-mail:jscr36@asahikawa-med.ac.jp